

事業報告書
(団体紹介シート)

令和2年12月現在

団 体 紹 介			
団体名	NPO 法人浜田おやこ劇場		
代表者氏名	理事長 馬場 範子		
団体所在地	☐ 代表者自宅		
連絡先	〒697-0024 浜田市黒川町 1124 番 5 電話 (0855) 23-6396	☐ 非公開	
設立年月日	平成元年 10月 7日		
会員数	個人会員 165 人 ・ 賛助会員 18 名		
活動分野	該当するものに○		
	☐ 社会貢献に関する事業	☐ 人材育成事業	
	☒ 芸術文化の振興に関する事業		
	☐ その他の事業		
活動時間	活動の運営拠点となる事務局は(水)(金)午前を除き、平日 9:45~12:00、 13:00~16:30 に開局しています。		
活動内容	全国各地からプロの劇団に来てもらい、年 4~5 回程会員で舞台劇や人形劇を鑑賞しています。3 歳以下は無料。4 歳以上おとなの会員は毎月会費を積み立て、鑑賞例会は無料で観れます。コロナ禍で 3 月から 8 月まで鑑賞活動を休止しておりましたが、感染防止策を講じ、9 月から新しい鑑賞スタイルでスタート。公演回数を増やし、小さな子どもさん世帯には家族単位のパズルマットで間隔をあけて座ってもらっています。子どもたちが保護者の隣やひざの上で自由に反応しながら鑑賞しており、横とのつながりを持ちにくい禍中、家族や参加者と共有できる鑑賞機会の必要性を改めて感じています。今後の例会は、2/13(土)、3/14(日)に舞台劇を鑑賞する機会があります。 定員を設け、地域や一般の方も参加できるワークショップや講演会、乳幼児世帯の親子のサロン「すぺーす・ひだまり」を月 2 回子育て支援センターで開いています。「すぺーす・ひだまり」では、子育て中のお母さんがほっとできる居場所を経験豊富な見守りスタッフと作っています。異年齢の交流を図ることができ、一緒に子どもを見守る心地良さを感じてもらっています。来年 1 月から、事務局 2F スペースを少人数で利用できるよう整備しています。子どもをまんやかにした地域の劇場として活動しています。		
団体の P R	創造性あふれる文化環境づくりと、子どもとおとなが共に育ち合う環境づくりを推進することにより、子どもの社会参画の機会を拡充したり、かつ子どもの豊かな成長に寄与することを目的として活動しています。		

事業報告	
事業名	KRK（高学年例会企画部）運営「講談師による三味線ワークショップ」
事業内容	・講談師による三味線ワークショップ 講師 オフィス猫じゃらし（講談師）平松千恵子さん 他スタッフ 1 名 実施日： 10/24(土) 三味線ワークショップ 時 間： 17:00～18:00 参加者：大人 10 名・子ども 13 名 場 所： 浜田市総合福祉センター2F 和室 ・オフィス猫じゃらし「唄がたり怪談日本むかし話～其の二～」公演 実施日：11/15(日) 時 間：17:30～18:50 参加者：約 70 名 場 所：いわみーる体育室
事業目的（成果）	会員の小学5年生～中学3年生までの有志9名で活動しているKRK（高学年例会企画部）が、自主活動として運営する本公演を前に、講談師の平松さんとスタッフ1名を迎え、三味線ワークショップを実施しました。KRKの子どもたちの他、KRKの保護者、一般3名の参加がありました。「番長皿屋敷」の語り、三味線と唄を披露された後、三味線のしくみや構え方、ばちの使い方を聞き、11竿の三味線を交代で使い、音を確かめながら「さくら」を弾きました。右手と左手を巧みに動かす技に、伝統的な和楽器の難しさの中に面白さを感じたようでした。三味線で使われる動物の皮や、日本の古来からの職人技など雑学も教えてくださり、三味線にみな興味津々でした。 三味線ワークの翌日、子ども達だけで2グループに分かれ、市内商店街へポスター掲示願いに行きました。駅構内のお店や、楽器店、電気屋さんなど、経験のある中学生がリードしながら小学生も挑戦しました。会場定員の関係で一般チケット販売を断念しましたが、ドキドキしながら自分たちの活動をPRできたようで、清々しい顔でスタート地点に帰ってきました。 例会当日は晴天に恵まれ、会場入り口には鮮やかな幟旗に、作成した公演看板が並びました。準備で時間が取れなかったため、各自家で作った飾りや、家にある和風雑貨を持ち寄り、来場者を迎える準備をしました。子ども達の発案でろうそく照明で客席を包み、暗い会場が怪談の世界へ誘いました。 3つの怪談話に三味線、唄を挟み上演されましたが、3話とも違った怖さの中、人情の温かさも感じられる作品でした。会員のみの鑑賞例会となりましたが、参加者から企画運営したKRKに対し、「コロナ禍でもよく準備できたね」とねぎらいの声も頂きました。 後日リーダー中心に、活動の振り返りをしました。集まって活動する時間が制限された中、「校区や学年を超えた仲間との交流が楽しかった」、「みんなで話し合って協力できた」など活動へ前向きな意見がありました。 三味線ワークショップ、本公演のポスター・チラシの作成を、元KRKの高校生と一緒に作ることができ、OBとして関わってくれたのは大変心強かった。

活動の様子

10/24(土) 講談師による三味線ワークショップ



三味線の片付け



10/25(日)ポスター掲示願い

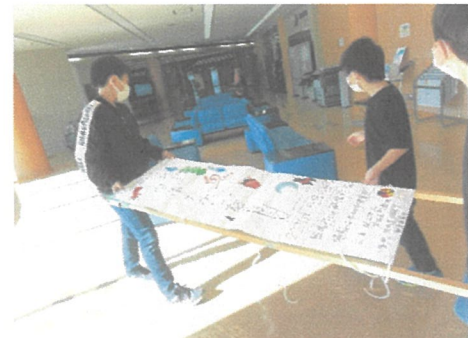


活動の様子

11/15(日)「唄がたり怪談日本むかし話〜其の二〜」

舞台荷物の搬入

看板準備

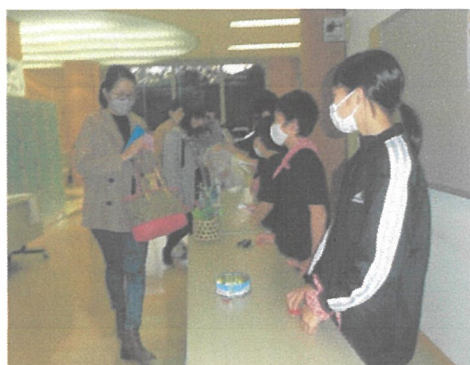




運営打合せ



開場時の様子

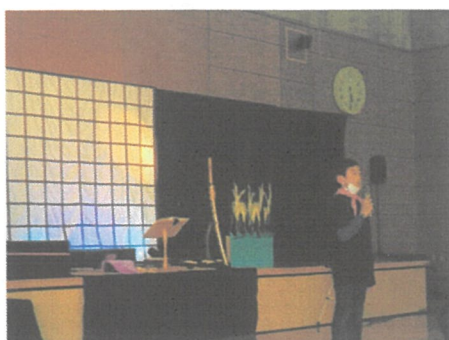


手作りフレームプレゼント



始めの挨拶

終演後プレゼント渡し



KRK 挨拶



会場片付け・搬出



12/6(日)振り返り



チケット



今後の 取組予定

- 子どもたち自身で決め、責任を持つ自主活動を見守っていく。
- 中3メンバーを送る会を3月に計画。
- 今年度の振り返りと来年度リーダー1名、副リーダー2名を選出。
- 来年度の活動計画を話し合う。

KRK（高学年例会企画部）…小5から中3までの会員有志で例会を
企画・運営（今年度9名で活動中）